

備前市事務事業評価表

事務事業名	児童遊園地管理事業		コード	担当課係	福祉事務所児童福祉係
事業実施期間	S46 ~		02-01-01-06	担当者	小橋
総合計画 事業（政策）体系	大項目	健康でやさしさあふれるまちづくり	電話	64-1825	
	中項目	やさしさあふれるまちづくり			
	小項目	子育て支援			
	施策	地域における児童の健全育成			

事業について	
目的	次世代を担う児童が地域で安全にのびのびと遊べる場を提供する。
対象 (誰のために)	地域の児童及び保護者
内容	児童が安全に遊べる遊具等を点検し、随時修理している。

事業の結果			
実施項目	17年度		
	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
児童遊園地数	遊園地数 31ヶ所		
修理件数	修理件数 5ヶ所		

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	1,892	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	3,630	受益者負担		人件費		受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	5,522	一般財源等	5,522	合計	0	一般財源等	0	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.40	人				
結果指標名	遊園地数					
結果指標量	31					
単位	ヶ所					
対前年比	—		0.00%			
事業費	5,521,985	円				
単位当たりコスト①	178,129	円				

結果指標名	修理件数					
結果指標量	5					
単位	ヶ所					
対前年比	—		0.00%			
事業費	5,521,985	円				
単位当たりコスト②	1,104,397	円				

事業の成果			
成果指標名	児童遊園地で発生した事故件数	式又は説明	修理の不備による事故をなくす。
	17年度		
成果指標量	0		
対前年比	—		
到達目標値	事故件数 0	到達目標年度	毎年

事務事業の評価		(平成17年度事業)
目的・対象・内容の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等：	課題認識
対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	児童遊園地の設置については、充足していると考えられる。
市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	
コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input checked="" type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	施設の老朽化が進み遊具の修繕、撤去、新規設置に事業費がかかるが、現在、あまり利用されていない施設については、遊具等の撤廃の見直しもしていく必要がある。
手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	
職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	維持管理については、安全性の面から市が関与するが、地元住民の参加による地域組織活動を促進していく必要がある。
成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある <input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している	
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

総合評価		評価区分 <A~E>
コメント	児童遊園地の施設数は充足していると考えられる。施設が老朽化してくることから、緊急性や安全性を重視し事業を進める。ただし、利用者数や、地域要望を考慮しながら遊具等の撤廃も考える必要があると考える。	C

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度 結果指標量①	児童遊園地数 32ヶ所	結果指標量②	修理件数 10件
目標値	結果指標量	事故件数	0件

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	維持管理については、更なる地域管理を促進していく。	毎年	地域住民が管理に関わることにより、地域ぐるみの利用促進が図れる。
有効性	各地区の実情を踏まえつつ、遊具等の撤廃を含めた見直しにより施設整備を図る。	毎年	子どもたちが安心して遊べるよう質的整備が促進される。

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。